

大会宣言

老人クラブでは、これまで地域の一員として、健康づくりや友愛活動を通じ支援を必要とする高齢者の見守りや日常的な生活支援に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面する中、介護保険制度の見直しで、各市町では、新地域支援事業に取り組み、高齢者を行政や地域団体などと協働して支える体制の整備が求められています。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、市町が行う新地域支援事業に参画し、高齢者が住み慣れた地域で安心して長く暮らし続けられるよう事業活動に取り組んでいきます。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の4年目を迎え、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治会と連携した取り組みを行うなど、運動の強化を図る必要があります。

平成30年には、本県において「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」が開催されます。スポーツの感動を広め、未来へつなげる国体を実現するために、県民が一体となった気運の醸成が求められています。

「小さくてもキラリと光る 誇りと活力に満ちたふるさと」ここ勝山市に集う老人クラブ代表者は、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」の推進
- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援活動」への参画
- 一、健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立
- 一、国体に向けた「宣言」の実践(平成27年6月16日 会長会議において採択)

平成29年10月25日

第44回 福井県老人クラブ大会